



運営協議会だより

第7号

代表 西澤 輝信 校園長 百合野 壽郎

第7回地域協働学校運営協議会が開催されましたので、議事の概要をご報告します。

■日 時 令和7年12月9日 16:30~17:40

■場 所 落合第六小学校 図書室

■司 会 副校長

【代表挨拶】

12月6日の音楽会では、どの学年も素晴らしい発表でした。特に6年生のアフリカンシンフォニーでは、コンガの音に合わせて、体育館がアフリカの雰囲気に包まれました。

【校長挨拶】 体調不良のため欠席

【学校の取組等について】

インフルエンザの蔓延で、学年閉鎖や学級閉鎖を行い、予定されていたおちろく班遠足は中止となりましたが、代わりに12月11に拡大全校あそびとして、楽しい時間を作る予定です。12月6日の午前中は音楽会、午後はオーブンスクールとして音楽祭を開催し、のべ1,000人の保護者や地域の方にお越しいただきました。音を楽しむことをテーマに子どもたちが考え、おちろくDASHでの縦割り班でお店を作りました。ご来校いただき、ありがとうございました。12月25日に終業式を迎え、冬休みに入ります。新年が明けましたら、書初め展の開催を予定しておりますので、次回の協議会にお越しの際、ご覧いただければと思います。

【意見交換】

- ・12月8日に第2回地域協働学校研修会が新宿コズミックセンターで開催され、4名(亀井・鯉沼・高島・水上)で参加した。
- ・地域の大人は「ななめの関係」で子どもたちに接することで「世間知」を伝える。
- ・「1つ良いことをすると、3つ良いことが返ってくる」、「1つ悪いことをすると、3つ悪いことが返ってくる」を思い出した。心に響く言葉が大事だと思う。
- ・今どきの子どもの接し方について、今の子どもたちの置かれている環境についても話があった。
- ・子どもの意見は、まず肯定して、受け止めることが大切。
- ・AIの技術が進み、相談事をAIにする人が増えているが、返答が肯定から入るので、親近感を持つてしまう。
- ・子どもとの距離の取り方を考え、子どもの気持ちに寄り添い対話することが大切。
- ・小学校のイベントに、中学生が来校して盛り上げができると良いのではないか。
- ・動画を見る子どもたちは、実際にできることでも、自分もできる気がしてしまうことが多い。
- ・字が上手に書けるようになる動画だけで、自分で実際に書くことをしなければ、字の上達は難しい。
- ・実際に経験し、失敗と成功を繰り返すことが大事。
- ・今の子どもたちにとって、スマホは体の一部に感じるくらい、重要なツールになっている。
- ・スマホがなくても生活できることを、伝えたい。
- ・図書館では、調べる学習の出前授業を実施し、子どもたちがたくさん応募してくれた。

【次回の予定】 令和8年1月20日(火) 16:30~

【出席者】

西澤 輝信、橋田 稔、館 次郎、亀井 治子、鯉沼 美香子、高島 恵子、
宮田 一宏(西落合図書館館長)、木村 小枝子(教育支援課)、
原島 謙一、水上 真理(書記兼務)、